

とうかい Kyo-Do 協働 通信

No.3

「企業」×「NPO・市民活動団体等」の協働を考える！

第3回とうかいKyo-Do(協働)キックオフミーティングを2025年1月17日(金)に開催し、NPO・市民活動団体、企業、高校・大学等の関係者の計29人に参加していただきました。



今回は「企業」と「NPO・市民活動団体等」との協働について話し合いました。これまでの協働経験や、これから取組を進める上で、お互いに大切にしたいこと等について、意見を交わしました。

立場や属性を越えて、協働を進めるために積極的に話し合った！

前半では、「企業」と「NPO・市民活動団体等」ごとにグループをつくり、協働経験がある人は、そのきっかけや意義等を、経験がない人は、その理由等について話し合いました。

後半では、属性ごとに分けて、「企業」と「NPO・市民活動団体等」が協働を進める上で、「お互いが大切にしたいこと」、「協働の具体的なアイデア」について意見交換を行いました。第2回(小中学校・高校・大学の関係者×NPO・市民活動団体等)のミーティングの意見との共通点も多くありました。以下、主な意見をご紹介します。

キーワード	内容（協働を進める上での課題）
時間・費用	・時間、場所の打ち合わせ。合わせるのが大変だった。 ・無償ボランティアはずっと継続できるか不安。自分も時間は有償。 ・予算立てまでの時間が短く、協働に至るまでの検討時間が足りない。
相互理解	・社内メンバーの理解を得ることが難しい。 ・目的が共有できていないと、活動が形だけになってしまう。 ・企業や団体間の情報共有の仕組みが確立されていない。
人材・経験	・役割分担が明確でなく、運営が属人化してしまう。 ・どのように声掛けをすればよいのかわからない。

千頭先生からは、今回のような場を、企業やNPO・市民活動団体等が中心となり創り出していくことも意義があることという問いかけが参加者に向けて投げかけられました。

ミーティング終了後には、顔見知りとなった参加者同士が、積極的に話し合いの続きをしたり、お互いの活動情報を交換したりする場面が多く生まれました。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7525

0562-38-6136

Email：chiiki@city.tokai.lg.jp

発行者：東海市総務部市民協働課



へいしゅう せいしゅ
Heishu Hosoi

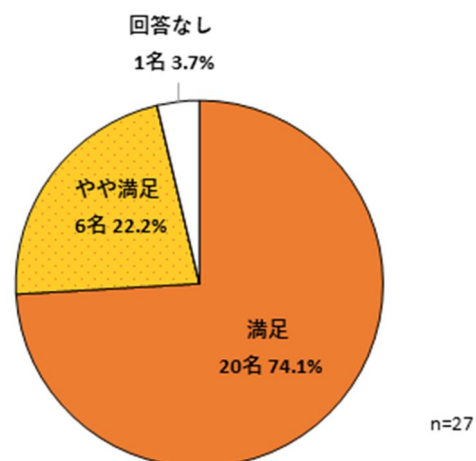
第3回のアンケート結果(抜粋)

1 全体の満足度

- 満足が 74.1%、やや満足が 22.2%、ほとんどの参加者が満足と回答しています。

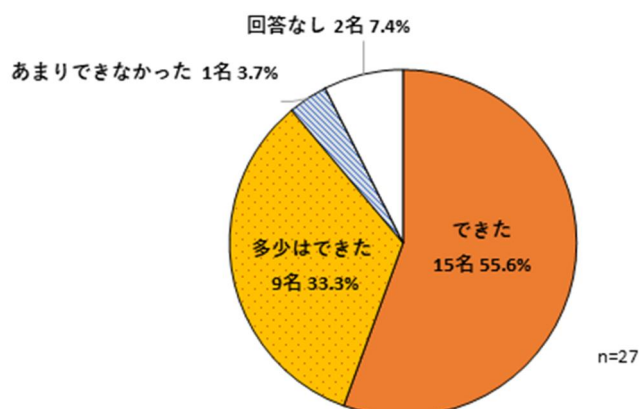
1-1 その理由

- 企業の方や、普段出会うことのない NPO 団体の皆さんと情報交換ができてよかった
- 協働する上での問題点やその解決策について考えることができた
- 同じ民間企業の中に、利益だけでなく、まちづくりに貢献したいという思いを持った方が多いことに気づいた。等



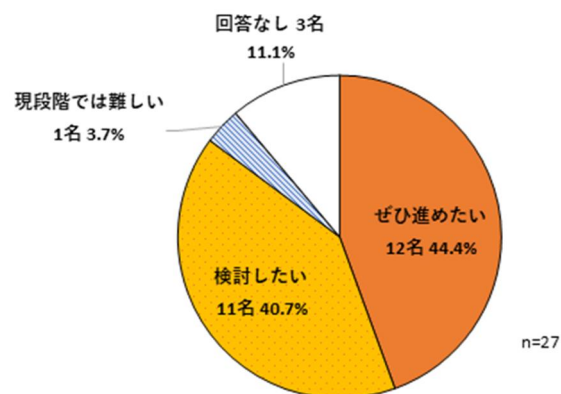
2 企業や市民活動団体等との相互の理解や交流を深めることはできたか。

- できたが 55.6%、多少はできたが 33.3%、あわせて 8 割以上の参加者ができたと回答しています。



3 今後、企業や市民活動団体等との協働を進めていきたいと思いませんか

- ぜひ進めたいが 44.4%、検討したいが 40.7%、あわせて8割以上の参加者が進めたいと回答しています。



3-1 一緒に取り組んでみたいこと

- 産休前の方向けの講座を企業とやりたい
- 企業と NPO が協力し、部活動を支援したい 等

4 今後、企業や市民活動団体等と協働する上での悩みや困りごとなど

<つながる場について>

- 交流の場を設ける際、要検討事項(費用、拘束時間、何かあった時の責任問題等)を明らかにしてもらえると、つながりやすい
- 市からの助成や補助金など制度があり、その情報があるとより良いマッチングが可能 等

<きっかけや窓口がない>

- 担当窓口が違う(市民活動団体は市民協働課、企業は商工労政課)ため上手く出会えない
- 協賛のお願いをしに行く窓口を知りたい 等